

# 日立創業者 功績伝える

2017/9/5  
ヨミウ

## 命日に記念会設立へ

### 栃木市出身・小平浪平

栃木市出身で日立製作所の創業者・小平浪平（1874～1951年）を顕彰するため、栃木商工会議所（大川吉弘会頭）が中心となり、今年10月5日の命日に「小平浪平翁記念会」を設立する。全国から会員を募集し、小平の功績を広く知ってもらうほか、生家の保存運動に取り組む。将来的には、経営者を志す若者の人材育成にも貢献することを目指す。



小平浪平—栃木商工会議所提供

小平は、旧家中村合戦場（現・栃木市都賀町合戦場）に生まれた。合戦場小学校、栃木高等小学校を経て上京、東京帝大を卒業後、鉱山会社に入社。1910年

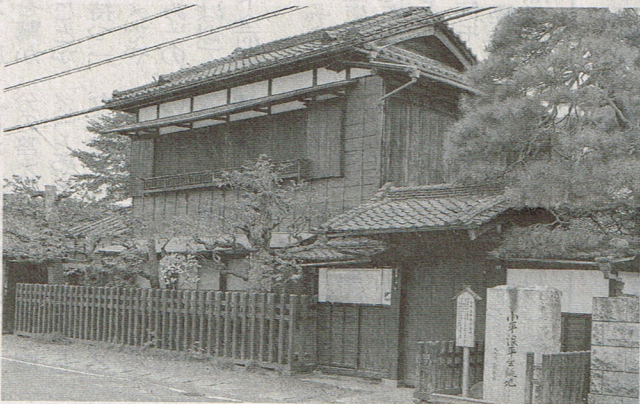
に国産初の5馬力電動機を製作、同年、茨城県日立市で日立製作所の基となる工場を建築した。日立製作所では29、47年に社長を務め、多くのグループを抱える世界的な企業の礎を築いた。

設立発起人代表は日立製作所の栃木工場長や社長、会長を務めた庄山悦彦同社名誉相談役、同商議所の大川会頭、副会頭が務める。同商議所の会員に設立総会への参加を呼びかけている。

日立市の同社日立事業所内には小平記念館があり、創業当時から資料などが展示。同市内の小学校の副読本にも小平が取り上げられ、多くの市民にその功績が知られている。

の傍らに生誕地の石碑があり、市立合戦場小学校の校舎内の歴史資料室に写真や書、在籍当時の絵画や賞状が展示されている。しかし、旧都賀町以外の市民にはあまりなじみがない。

2010年の都賀町などの



小平浪平の生家（栃木市都賀町合戦場で）

また、日立グループのホームページでは、「日立の創業者である小平浪平の強い信念『優れた自主技術・製品の開発を通じて、社会に貢献する』を、私たちは企業理念として継承しました」と紹介している。

一方、栃木市では、生家